第8章 目標達成のための施策・事業

8.1 計画に位置付ける施策の体系

前章で定めた基本方針や目標等を踏まえ、本計画に位置付ける施策体系を以下のとおり設定します。

表 6 本計画に位置付ける施策体系

目標	評価指標	施策・事業	
【目標 1-1】持続可能な交通ネットワークの構築に資する支出の確保	評価指標 1 公共交通ネットワークの収支率	【施策①】近隣市町への移動も踏まえた公共交通ネットワークの維持・確保	
		事業①-1	役割や移動実態に応じた、路線に対する支援の検討
	評価指標 2 公共交通ネットワークの維持に係る利用者 1 人あたりの年間行政負担額	事業①-2	支線部分の利用状況に応じた路線や車両等の見直し
		事業①-3	生活航路、離島航路の維持
		事業①-4	運行／運航の担い手確保
【目標 1-2】交通手段間の連携による利便性の向上	評価指標 3 利便性向上に資する事業の取組割合	【施策②】あらゆる交通手段間の連携強化	
		事業②-1	公共交通に係る情報発信の促進・改善
		事業②-2	分かりやすいダイヤ設定
		事業②-3	交通結節点等での待合環境整備
		事業②-4	交通結節点の複合機能化
		事業②-5	観光目的での自転車との連携促進
		【施策③】公共交通の周辺・関連領域との連携による事業環境の確保	
		事業③-1	貨客混載等による新たな収益源の獲得
		事業③-2	医療機関・商業施設等との連携強化による事業の安定化
		事業③-3	健康づくりやイベント等と連携した公共交通の利用促進
		事業③-4	市民、観光客それぞれをターゲットとした MaaS の取組の推進
		事業③-5	生活交通における観光利用の促進
【目標 2】公共交通を利用する機会の増加	評価指標 4 市民 1 人あたりの公共交通の年間利用回数	【施策④】意識啓発による公共交通の利用促進	
		事業④-1	行政機関や事業所等でのモビリティ・マネジメントの推進
		事業④-2	公共交通の乗り方・使い方教室の実施
【目標 3】デジタルトランスフォーメーションの推進	評価指標 5 デジタルトランスフォーメーションに資する事業の取組割合	【施策⑤】交通行政・取組のデジタル化	
		事業⑤-1	GTFS データの整備と利活用、オープンデータ化
		事業⑤-2	キャッシュレス決済、電子チケット等の導入促進
		事業⑤-3	交通行政における DX による効率化

8.2 施策と事業の内容

事業①-1　役割や移動実態に応じた、路線に対する支援の検討

対応する課題

- 維持すべき路線・航路の明確化と役割に応じた適切なサービス設計
- クロスセクター効果も踏まえた機能の維持

事業概要イメージ

◎幹線系統

- 運賃収入に対し運行経費が上回っている幹線系統について、機能を維持するための支援を検討します。
- 運賃収入が運行経費を上回っている系統においても、利用状況等により運賃収入が減少し、運行経費が上回った場合には支援を検討します。
- 幹線系統で国または県の補助対象となっている系統は、以下のとおりです。

（国庫補助：地域間幹線系統確保維持費補助金）

系統名	起点	おもな経過地	終点	実施主体
如水館線	尾道駅前	長江口	如水館前	交通事業者
福山・市線	福山駅前	中国中央病院	市出張所	
尾道・甲山線	尾道駅前	川上口・市出張所	甲山営業所	
尾道・甲山線	尾道駅前	長江口・バイパス	甲山営業所	
尾道駅前～川上口・新尾道駅～市(御調高校前)	尾道駅前	川上口・新尾道駅	市(御調高校前)	
瀬戸田～因島線	瀬戸田港	生口橋赤崎	土生港前	
瀬戸田～因島線(内海造船経由)	瀬戸田港	生口橋・内海造船	土生港前	

（県補助：広島県広域生活交通路線確保維持費補助金）

系統名	起点	おもな経過地	終点	実施主体
瀬戸田線	尾道駅前	市民病院・向島 BS	瀬戸田港	交通事業者
	JA 総合病院	市民病院・尾道駅前	瀬戸田港	
福山・市線	目崎車庫	－	市出張所	
福山～松永～尾道駅前	福山	松永	尾道駅前	

◎支線系統

- 他市町と連携していたり、幹線を補完したりする役割を担う支線系統について、運賃収入に対し運行経費が上回っている場合に、機能を維持するための支援を検討します。
- 支線系統で国または県の補助対象となっている系統は、以下のとおりです。

（国庫補助：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金）

系統名	起点	おもな経過地	終点	実施主体
みつぎ乗合タクシー				交通事業者

（県補助：広島県広域生活交通路線確保維持費補助金）

系統名	起点	おもな経過地	終点	実施主体
生口島一周線	瀬戸田港	赤崎・光明坊	瀬戸田診療所	交通事業者
生口島一周線（瀬戸田 BS 経由）	瀬戸田港	赤崎・瀬戸田 BS	瀬戸田診療所	
駅南口～バイパス東口～如水館	駅南口	バイパス東口	如水館	
駅南口～常石～千歳橋	駅南口	常石	千歳橋	
駅南口～常石～内海農協	駅南口	常石	内海農協	
松永～新池～満越	松永	新池	満越	
満越～早戸～福山駅前	満越	早戸	福山駅前	

主要幹線軸（広域拠点・都市拠点・地域拠点相互あるいは他市町と連絡）
※点線部分は、高速道路や新幹線等の長距離移動を伴うもの

補助幹線軸（広域拠点・都市拠点・地域拠点と交通拠点とを連絡）

支線軸（地域拠点で幹線と連絡）

資料：尾道市都市計画マスタープランに加筆

図 39　陸上交通における幹線軸と都市計画マスタープランに位置付けられる拠点の関係（再掲）

取組主体	尾道市、国、広島県、運行事業者、ほか沿線市町

スケジュール

事業概要	R5 （2023 年）	R6 （2024 年）	R7 （2025 年）	R8 （2026 年）	R9 （2027 年）
幹線機能の維持に向けた支援					
支線機能の維持に向けた支援					

事業①-2　支線部分の利用状況に応じた路線や車両等の見直し

対応する課題

- 維持すべき路線・航路の明確化と役割に応じた適切なサービス設計
- 自動車専用道路走行の利便性とバリアフリー対応、低床化等のトレードオフへの対応
- デマンド交通等への転換に向けた検討の推進

事業概要イメージ

- 利用状況に応じ、支線系統をデマンド交通へ見直すことを検討します。
- 見直しにあたっては、送迎交通等のあらゆる輸送資源との連携も含め、持続可能な運行形態を地域ごとに模索します。

出典：湖西市 web サイト

図 40　送迎交通を公共交通に取り込んだ例

- 利用者数が少ない路線においては、更新の時期を踏まえつつ、ワゴン車等の小型車両への置き換えにより、運行経費の軽減を図ります。
- 高齢者や障害者などの移動制約者の利用を想定し、車両のバリアフリー化（ノンステップバスや低床車両の導入、ステップの設置等）を図ります。

図 41　ワゴン車で運行するバス路線の例（広島県庄原市）

取組主体	運行事業者、尾道市

スケジュール

事業概要	R5（2023 年）	R6（2024 年）	R7（2025 年）	R8（2026 年）	R9（2027 年）
支線系統の見直し	※状況に応じ見直し（破線：R5～R9）				
小型車両への置き換え	※更新の時期を踏まえ置き換え（破線：R5～R9）				
車両のバリアフリー化	（実線：R5～R9）				

事業①-3　生活航路、離島航路の維持

対応する課題

- 維持すべき路線・航路の明確化と役割に応じた適切なサービス設計
- クロスセクター効果も踏まえた機能の維持

事業概要イメージ

- 生活航路、離島航路等に位置付けられている航路について、機能を維持するための支援を検討します。
- その他、第3セクターなど、通勤・通学として重要な生活航路の維持・確保に向け取り組んでいる事業者に対し、効率的な運営を前提として、航路の維持に向けた対策を検討します。
- 生活航路、離島航路で国または県の補助対象となっている航路は以下のとおりです。

◎生活航路

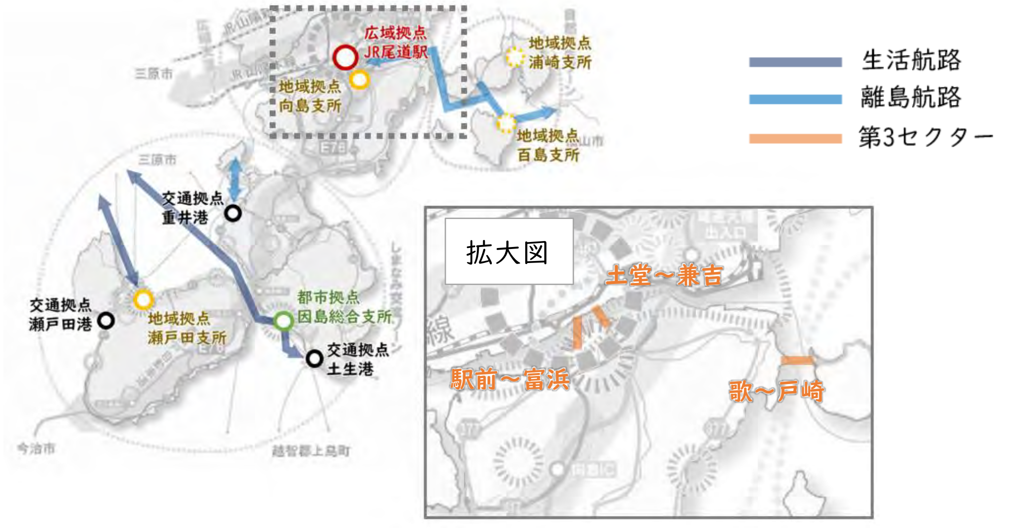
（県補助：生活航路維持確保対策事業補助金）

航路名	起点	おもな経過地	終点	実施主体
土生～三原	土生港	因島モール	三原港	交通事業者
須波～沢	須波港	－	沢港	交通事業者

◎離島航路

（国補助：離島航路運営費等補助金／県補助：広島県離島航路補助金）

航路名	起点	おもな経過地	終点	実施主体
常石～尾道	常石港	福田港	尾道港	交通事業者
細島～西浜	重井西港	－	細島港	尾道市



資料：尾道市都市計画マスタープランに加筆

図 42　生活航路、離島航路に位置付ける航路と都市計画マスタープランに位置付けられる拠点の関係

取組主体	尾道市、国、広島県、運航事業者、ほか沿線市町

スケジュール

事業概要	R5 （2023年）	R6 （2024年）	R7 （2025年）	R8 （2026年）	R9 （2027年）
生活航路、離島航路の維持					

事業①-4　運行／運航の担い手確保

対応する課題

- ➢ 運行／運航の担い手確保

事業概要イメージ

- ➢ ハローワークや海事事務所、事業者団体等と連携した担い手確保の取組として、就職フェアや運転体験会等を実施します。また、事業者団体等が実施する担い手確保の取組や、広島県が実施する UIJ ターン人材への仕事紹介等について、情報提供を行います。
- ➢ 必要に応じて、二種免許の取得支援に係る補助や船員雇用促進に係る助成金などの活用を目的とした情報提供を行います。

【大型二種免許取得支援制度の例：おのみちバス】
・採用試験応募時は大型二種免許不要。採用決定後に指定の自動車学校にて大型二種免許取得。
・大型二種免許取得費用を会社が貸与(3 年在籍で半額、5 年在籍で全額の返済免除)

図 44　交通事業者の合同説明会(本市)

資料：広島県バス協会

図 43　就職フェアの取組事例

資料：移住スカウトサービス SMOUT

図 45　佐賀県の定住促進と組み合わせた乗務員募集例

出典：ひろしま移住メディア HIROBIRO

図 46　広島県の UIJ ターン人材向けの求人情報掲載ページ

取組主体	尾道市、交通事業者、国、県、事業者団体、ハローワーク

スケジュール

事業概要	R5 (2023 年)	R6 (2024 年)	R7 (2025 年)	R8 (2026 年)	R9 (2027 年)
担い手確保の取組の推進	━━	━━	━━	━━	━━
各種補助や助成に係る情報提供	━━	━━	━━	━━	━━

事業②-1　公共交通に係る情報発信の促進・改善

<u>対応する課題</u>

- 分かりやすさの向上（案内やダイヤ等）
- 利用者の目線に立った情報発信と事業者間連携の推進

<u>事業概要イメージ</u>

- バス停案内や名称、時刻表、行き先表示等の改善を図ります。

図 47　結節点での案内例
（鳥取県鳥取市）

- 路線の見直しや事業者の変更等を踏まえ、公共交通マップを更新します。（観光マップとの連携も検討します）
- 公共交通マップと合わせて活用できる総合時刻表を作成します。（デジタル対応も視野）

図 48　尾道公共交通マップ

図 49　総合時刻表の例（福山・笠岡地域公共交通活性化協議会）

取組主体	交通事業者、尾道市

スケジュール

事業概要	R5 （2023 年）	R6 （2024 年）	R7 （2025 年）	R8 （2026 年）	R9 （2027 年）
バス停案内や名称、時刻表、行き先表示等の改善	実現に向け協議・検討→協議が整い次第改善				
公共交通マップの更新	実現に向け協議・検討→協議が整い次第更新				
総合時刻表の作成	実現に向け協議・検討→協議が整い次第作成				

事業②-2　分かりやすいダイヤ設定

対応する課題

- 分かりやすさの向上（案内やダイヤ等）
- 利用者の目線に立った情報発信と事業者間連携の推進

事業概要イメージ

- 交通結節点において、幹線系統と支線系統の乗継や、鉄道－バス・バス－船等の乗継ができるよう、ダイヤを設定します。

図 50　幹線系統と支線系統の乗継の例
（愛媛県宇和島市）

- 複数系統が重複する路線において、運行間隔を調整することによる利用者数の平準化を図ります。（地域公共交通利便増進事業の適用や幹線系統における共同経営計画の策定も検討します）
- バス路線や航路において、できる限りパターンダイヤ化することにより、分かりやすさを向上させます。

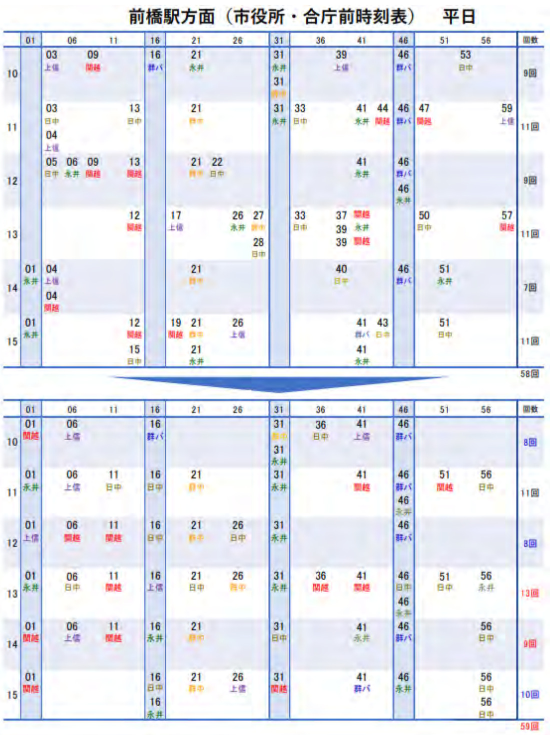


図 51　ダイヤ調整の例
出典：前橋市内乗合バス事業共同経営計画

取組主体	運行事業者、尾道市

スケジュール

事業概要	R5（2023 年）	R6（2024 年）	R7（2025 年）	R8（2026 年）	R9（2027 年）
幹線系統と支線系統等の乗継向上	対象検討	協議・調整を踏まえ改善			
運行間隔の平準化、パターンダイヤの導入	対象検討	協議・調整を踏まえ導入			

事業②-3　交通結節点等での待合環境整備

<u>対応する課題</u>

- 分かりやすさの向上(案内やダイヤ等)
- 利用者の目線に立った情報発信と事業者間連携の推進

<u>事業概要イメージ</u>

- 幹線・支線の乗り入れ状況やその機能などに応じて、交通結節点等の位置付けを整理します。

交通結節点等の位置付け	位置付ける拠点	対象となる駅、バス停、港
広域交通結節点	JR 尾道駅	JR 尾道駅、尾道港
	JR 新尾道駅	JR 新尾道駅
主要交通結節点	因島総合支所	因島総合支所、因島モール
	御調支所	道の駅クロスロードみつぎ
	瀬戸田支所	瀬戸田支所、瀬戸田診療所
	三成	三成(高速バス停留所・中国自動車道尾道 IC 等)
交通結節点	JR 東尾道駅	JR 東尾道駅
	向島支所	向島支所
	浦崎支所	満越港
	百島支所	福田港
	重井港	重井西港
	土生港	土生港(中央桟橋・長崎桟橋)
	瀬戸田港	瀬戸田港
その他交通拠点		長江口
		尾道総合病院
		尾道市立市民病院

- 交通結節点等の位置付けを踏まえ、求められる待合環境を定義します。

【定義する内容のイメージ】
・ハード面：トイレや待合室、冷暖房、屋根、バリアフリー対策、AED　等
・ソフト面：サイネージ、発着案内、施設の清潔さ、室内照明、維持管理　等

- 定義された待合環境について、一定程度の水準を満たすよう整備を推進します。整備に際し、必要に応じて、地域公共交通利便増進事業の適用も検討します。

取組主体	尾道市、運行・運航事業者、広島県

スケジュール

事業概要	R5 (2023 年)	R6 (2024 年)	R7 (2025 年)	R8 (2026 年)	R9 (2027 年)
交通結節点に求められる待合環境の定義	━				
待合環境の整備の推進		━	━	━	━

事業②-4　交通結節点の複合機能化

対応する課題
- 分かりやすさの向上（案内やダイヤ等）
- 貨客混載事業等による収益の確保（出荷代行や救援事業、商品宅配等）
- 地域活動等との連携による利用者の確保

事業概要イメージ
- 事業②-3 で定義する交通結節点等において、結節点内あるいは結節点に隣接して物販施設や公共施設等を配置し、複合機能化を図ります。（必ずしも新たな施設整備を伴いません）

図 52　駅に宿泊施設、物販が併設（尾道駅）

図 53　バス停に道の駅、図書館等が併設
（道の駅クロスロードみつぎ）

図 54　バス停、路面電車電停にコンビニが併設
（高知県南国市）

図 55　バス停に公民館が併設
（広島県広島市安佐北区）

図 56
イートインスペースに路線バスのサイネージを設置（山口県山口市）

出典：山口市 web サイト

取組主体	尾道市、その他関係団体

スケジュール

事業概要		R5 （2023 年）	R6 （2024 年）	R7 （2025 年）	R8 （2026 年）	R9 （2027 年）
交通結節点の複合機能化	施設整備を伴わない		検討・協議（R6～R9）			
	施設整備を伴う		実現に向け協議・検討→協議が整い次第導入（R6～R9）			

事業②-5　観光目的での自転車との連携促進

対応する課題

- 市民の公共交通利用を増やすモビリティ・マネジメントの推進
- SDGs の観点を踏まえた公共交通利用の働きかけ

事業概要イメージ

- サイクルシップの運航により航路の観光利用を促進します。

図 57　本市で運航しているサイクルシップ

- 交通結節点において、自転車の組立スペースを整備し、自転車の輪行による公共交通利用を促進します。

図 58　尾道駅前にある自転車の組立スペース

- 観光目的でバスや鉄道等に自転車をそのまま載せる取組(サイクルラックバス、サイクルトレイン)を検討します。

図 59　サイクルラックバスの事例(東海バス)
出典：東海バス web サイト

取組主体	交通事業者、尾道市、観光協会等の観光関連団体

スケジュール

事業概要	R5 (2023 年)	R6 (2024 年)	R7 (2025 年)	R8 (2026 年)	R9 (2027 年)
サイクルシップの運航					
自転車組立スペースの整備					
サイクルラックバス、サイクルトレインの検討	実現に向け協議・検討→協議が整い次第導入				

事業③-1　貨客混載等による新たな収益源の獲得

<u>対応する課題</u>

- ➢ 貨客混載事業等による収益の確保（出荷代行や救援事業、商品宅配等）

<u>事業概要イメージ</u>

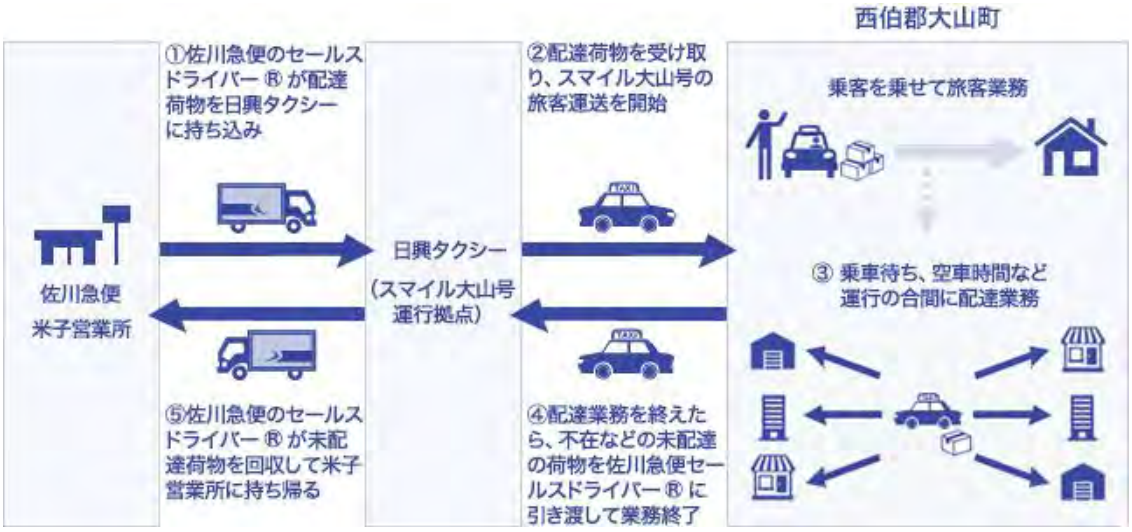
- ➢ 高速バスや路線バス、タクシー等において、商品の輸送を行う貨客混載事業の実現・拡充を目指します。

図 60　高速バスでの貨客混載事例（フラワーライナー）

出典：東急バス web サイト

図 61　路線バスでの貨客混載事例

- ➢ 過疎地域におけるデマンド交通やタクシー等での宅配代行の実現を目指します。



出典：佐川急便 web サイト

図 62　デマンド交通を活用した宅配代行の事例（鳥取県大山町）

取組主体	運行事業者、尾道市、商工会、宅配事業者

スケジュール

事業概要	R5（2023 年）	R6（2024 年）	R7（2025 年）	R8（2026 年）	R9（2027 年）
貨客混載事業の実現・拡充	実現・拡充に向け協議・検討→協議が整い次第導入				
デマンド交通等での宅配代行の実現	実現に向け協議・検討→協議が整い次第導入				

事業③-2　医療機関・商業施設等との連携強化による事業の安定化

対応する課題

- 市民の公共交通利用を増やすモビリティ・マネジメントの推進
- 貨客混載事業等による収益の確保（出荷代行や救援事業、商品宅配等）
- 地域活動等との連携による利用者の確保

事業概要イメージ

- みつぎ乗合タクシーにおいて、医療機関との連携により受診予約と配車手配の連動を図り、配車需要を平準化して効率を高めるよう検討します。
- バスの車体等に広告を掲載することで運賃外収入（広告収入）を獲得し、事業の安定化を図ります。

出典：おのみちバス web サイト

図 63　バスの車体に配置する広告の募集ページ（おのみちバス）

図 64　ラッピングバス

- 多角的な事業経営により、別事業から得た収益によって本業である公共交通の運営を下支えします。

図 65　本四バス開発：瀬戸田 PA

図 66　おのみちバス：移動スーパーはっぴぃ（共同運行）

図 67　おのみちバス：ロープウェイ

図 68　中国タクシー：小売業（ベーカリー）

取組主体	交通事業者

スケジュール

事業概要	R5（2023 年）	R6（2024 年）	R7（2025 年）	R8（2026 年）	R9（2027 年）
医療機関との連携による配車需要の平準化	実証実験		本格導入		
広告収入による事業の安定化					
別事業からの収益による公共交通の下支え					

事業③-3　健康づくりやイベント等と連携した公共交通の利用促進

対応する課題

- 地域活動等との連携による利用者の確保

事業概要イメージ

- バスや鉄道、船のダイヤを意識したイベント設定を働きかけます。
- イベント時におけるパークアンドライドの取組を実施します。

図 69　ダイヤにあわせたイベント事例（広島県庄原市）

図 70　パークアンドライドの PR 資料

図 71　シルバーリハビリ体操

- みつぎ乗合タクシーにおいて、健康づくり等の地域でのイベントに際し、乗合タクシーの活用を働きかけます。（イベント参加に際し、送迎が必要な人への配車を支援する等）

取組主体	イベント主催者・観光協会・地域住民、交通事業者、尾道市

スケジュール

事業概要	R5（2023年）	R6（2024年）	R7（2025年）	R8（2026年）	R9（2027年）
ダイヤを意識したイベント設定の働きかけ					
イベント時のパークアンドライドの実施					
健康づくり等での乗合タクシーの活用	実証実験		本格導入		

事業③-4　市民、観光客それぞれをターゲットとしたMaaSの取組の推進

対応する課題

- データの整備・活用の進展
- 市民の公共交通利用を増やすモビリティ・マネジメントの推進
- 分かりやすさの向上(案内やダイヤ等)

事業概要イメージ

- 市民をターゲットとしたMaaSの取組を推進します。(特に広島型MaaS推進事業を活用し、御調地域においてみつぎ乗合タクシーを活かした取組を行います)

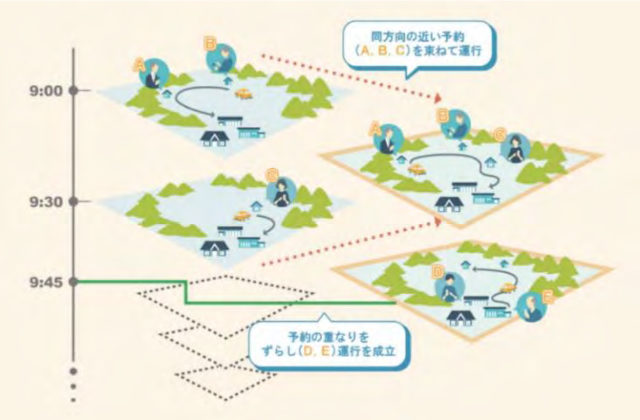


図 72
みつぎ乗合タクシーでの導入を想定するシステムのイメージ

- 観光客をターゲットとしたMaaSの取組を推進します。

出典：JRおでかけネットwebサイト

出典：MOBIRY webサイト

図 73　観光客をターゲットとしたMaaSの例(上：JR西日本tabiwa、下：広島電鉄MOBIRY)

取組主体	交通事業者、尾道市、広島県、観光協会、地域住民

スケジュール

事業概要	R5 (2023年)	R6 (2024年)	R7 (2025年)	R8 (2026年)	R9 (2027年)
広島型MaaSの取組の推進	実証実験		本格導入		
観光客をターゲットとしたMaaSの取組の推進					

事業③-5　生活交通における観光利用の促進

対応する課題

- 分かりやすさの向上(案内やダイヤ等)
- 利用者の目線に立った情報発信と事業者間連携の推進

事業概要イメージ

- 生活交通単体では維持が難しい交通手段に対して、観光利用を促進する取組を行います。

出典：尾道観光協会

図 74　観光利用と生活交通の共存イメージ

- 新尾道駅においては、通勤・通学など生活交通としての利用、尾道工業団地・尾道流通団地の関係者の利用に加え、新尾道駅の立地を活かし、びんご運動公園を活用した観光面での利用を促進する取組を検討します。

図 75　取組箇所の例(新尾道駅とびんご運動公園)

取組主体	交通事業者、尾道市

スケジュール

事業概要	R5 (2023 年)	R6 (2024 年)	R7 (2025 年)	R8 (2026 年)	R9 (2027 年)
観光利用の促進					

事業④-1　行政機関や事業所等でのモビリティ・マネジメントの推進

対応する課題

- 幹線部分における固定需要を増やすモビリティ・マネジメントの推進
- 市民の公共交通利用を増やすモビリティ・マネジメントの推進

事業概要イメージ

- 行政機関や事業者等において、公共交通利用の啓発活動を行います。

図 76　公共交通利用の啓発活動の例

出典：国土交通省 web サイト

- 事業所等への公共交通通勤を促進する支援を行います。（公共交通での通勤手当の支給に係る補助や公共交通通勤を奨励する企業の認証制度創設等を想定）

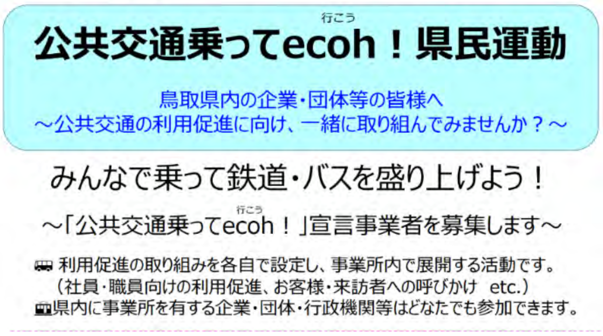


図 77　公共交通通勤を促進する支援の取組事例（鳥取県）

出典：鳥取県 web サイト

※福山都市圏交通円滑化総合計画では、エコな移動に役立つ情報やエコな移動に関するイベント情報を発信予定

図 78　公共交通利用を促進する取組事例（福山都市圏交通円滑化総合計画）

出典：福山都市圏交通円滑化総合計画推進委員会幹事会資料

取組主体	尾道市、その他行政機関・事業所等、地域住民

スケジュール

事業概要	R5（2023 年）	R6（2024 年）	R7（2025 年）	R8（2026 年）	R9（2027 年）
公共交通利用の啓発活動	実現に向け協議・検討→協議が整い次第導入				
公共交通通勤の促進に向けた支援の検討	実現に向け協議・検討→協議が整い次第導入				

事業④-2　公共交通の乗り方・使い方教室の実施

対応する課題

- ➢ 利用者の目線に立った情報発信と事業者間連携の推進
- ➢ 市民の公共交通利用を増やすモビリティ・マネジメントの推進

事業概要イメージ

- ➢ 児童・生徒、高齢者を対象とした公共交通の乗り方教室を開催します。

図 79　乗り方教室のイメージ(島根県松江市)

- ➢ 公共交通マップや総合時刻表の使い方教室を開催します。

事例 38　ワークショップを通してより効果的な情報を収集(八代市通学STYLEBOOK)

一通り完成した公共交通マップや時刻表、啓発冊子を使って、ターゲットである高校生に、実際に自宅から学校までの通学で利用する際の路線やダイヤ等を検索してもらうワークショップを実施し、高校生がほしいダイヤ情報(朝の課外授業に間に合うダイヤ、部活が終わってから帰るときのダイヤ、試験中の帰宅時のダイヤなど)やよく立ち寄るお店などの情報を収集して、各ツールに反映しています。

【高校生とのワークショップの様子】　【利用促進ツール】

出典：九州運輸局 web サイト

図 80　マップ等を活用した使い方教室等のイメージ(熊本県八代市)

取組主体	尾道市、交通事業者、地域住民

スケジュール

事業概要	R5 (2023 年)	R6 (2024 年)	R7 (2025 年)	R8 (2026 年)	R9 (2027 年)
公共交通の乗り方教室の実施	━━	━━	━━	━━	━━
公共交通マップや総合時刻表の使い方教室の実施		┅	マップ等が完成後に実施 ┅	┅	┅

事業⑤-1　GTFS データの整備と利活用、オープンデータ化

対応する課題

- データの整備・活用の進展

事業概要イメージ

- GTFS データ未整備の運行・運航事業者における GTFS データ整備を推進します。
  ※JP データ/RT データのそれぞれの整備を想定します。

図 81　Google での検索イメージ

- GTFS データを活かした取組を推進します。
  例：Google や乗換案内への掲載、RT データを活かしたデジタルサイネージの導入

図 82　RT データを活用したデジタルサイネージ例
（山口県山陽小野田市）

- オープンデータ化を推進します。
  （尾道市オープンデータカタログサイトへの掲載）
  ※オープンデータカタログサイトの目的：オープンデータの取組を推進することにより、市民生活の利便性の向上・地域経済の活性化・事業者など協働した取組の推進などが期待される。

取組主体	交通事業者、尾道市

スケジュール

事業概要	R5 （2023 年）	R6 （2024 年）	R7 （2025 年）	R8 （2026 年）	R9 （2027 年）
GTFS データ整備の推進	━	━	━	━	━
GTFS データを活かした取組の推進	━	━	━	━	━
オープンデータ化の推進	━	━	━	━	━

事業⑤-2　キャッシュレス決済、電子チケット等の導入促進

対応する課題

- データの整備・活用の進展
- 市民の公共交通利用を増やすモビリティ・マネジメントの推進

事業概要イメージ

- 運行・運航事業者において、車内・船内等で交通系 IC カードや QR コード、クレジットカード等のキャッシュレス決済ができるよう、端末等の導入を推進します。
  ※尾道市公共交通事業者キャッシュレス機器等整備事業費補助金の活用も積極的に検討

出典：JR 西日本 web サイト

図 83　IC 端末のイメージ

- 従来の紙媒体の乗車(船)券や企画チケットに代わる電子チケットの導入を推進します。

出典：JR おでかけネット web サイト

出典：Google Play

図 84 県内で運行する交通事業者が導入している電子チケットの例(一部再掲)

出典：MOBIRY web サイト

取組主体	運行・運航事業者、尾道市

スケジュール

事業概要	R5 (2023 年)	R6 (2024 年)	R7 (2025 年)	R8 (2026 年)	R9 (2027 年)
キャッシュレス決済の導入推進					
電子チケットの導入推進					

事業⑤-3　交通行政における DX による効率化

対応する課題

- ➢ データを活かした業務の効率化の進展

事業概要イメージ

- ➢ 広島県が整備する交通データ連携基盤を活かし、より有効な行政施策につなげていきます。

出典：MaaS Tech Japan web サイト

図 85　広島県交通データ連携基盤の概念

- ➢ 申請や監査等における電子データ(電子チケットや GTFS データ等)の活用を推進します。

取組主体	国、広島県、尾道市、運行・運航事業者

スケジュール

事業概要	R5 (2023 年)	R6 (2024 年)	R7 (2025 年)	R8 (2026 年)	R9 (2027 年)
交通データ連携基盤の活用	━	━	━	━	━
申請や監査等における電子データの活用	━	━	━	━	━